



NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ

みらいだより No.16

●発行 NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ みらい ●発行日 2015年3月2日
 ●発行責任 林 正枝 ●〒241-0024 旭区本村町108-10 グレイス二俣川404
 ●電話 045-364-3036 ●FAX 045-364-3096
 ●<http://www.k4.dion.ne.jp/~wcomirai/index.html>
 ●E-mail : kajikaigo-mirai@k9.dion.ne.jp

みらいはこんな支援をやっていきます

～地域で安心して日常生活をおくれるように～

介護保険サービスや
 障害者総合支援サービス利用の方の
 福祉有償運送(自費サービス)
 ～通学支援で学童保育に送ります～



食事介助他身体介護や生活支
 援を行う介護保険サービス



移動支援でこどもの国へ
 ～秋を楽しみました～



利用者様との交流会

横浜市では認められてい
 ないプール内介助は自主事
 業(自費サービス)で対応
 します

研修風景紹介



片麻痺の方を想定して
 更衣介助の研修

- みらいの支援サービス
- *自主事業コミオプ(自費サービス)
 - *介護保険訪問介護サービス
 - *障害者総合支援サービス
 - *横浜市移動支援サービス(か'い')

利用者さんの声

前を向き、みらいを

見しめよう

ー 進行性難病を宣告されて

K・M

私は今まで横浜を地元として育ちました。東京でいくつかの会社勤務を経た後、沖縄県の企業に縁あって転職し、自由でやりたいことができる環境や周囲の方々にも恵まれて充実した日々を送っていました。

しかし、沖縄に転職した後（今から約一年半前から）、急に違和感を覚えるようになり、徐々に歩きづらいつ、力が入らないといった症状に悩まされるようになりました。沖縄と実家の横浜とを行き来しながら何度も検査入院を繰り返しましたが、結局現在になっても原因や病名は分かっています。

せん。現代医学では治療も治癒も難しい進行性の病気だと医師から宣告された際には、目の前が真っ暗になり、31歳にして自分の人生が暗闇に閉ざされたような感覚に陥りました。

昨年6月から会社を休職、横浜に戻って車いすを日常的に利用するようになり、日常生活や移動のサポートをみらいさんにお願いくるようになりました。元々母がヘルパーとして勤務していたかねてより存じ上げていたこともあり親しみを感じていました。

障がいを持って以来、私が外出する際にサポートをいただき大変助かりました。話をたくさん聞いていただいたことで自分の中で前向きな気持ちが生まれるきっかけになったと思っています。家庭的な雰囲気での温かいサー

ビスとメンバーの障がい（個人人の状況）に対する知識・見識の深さがみらいの魅力です！

時間の経過とともに自身の障がいや少しずつ受け入れることができ、先日より就職活動を行っていたところ、東京の医療・医薬品関係の企業に就職が決まりました。これからも、会社での仕事を通じて少しでも社会に貢献し、自分を支えてくださっている全の方々へ恩返しをしていきたいです。

ワーカーからの一言

ー みらいに入ってー

笑顔に励まされながら・・・

（女性60代 二〇二二年十一月加入）

ヘルパー資格を取得したものの、すぐに介護の仕事に就こうな

どとは思っていませんでした。こんないい加減な気持ちでいた私に、突然みらいとの出会いがありました。そこでお会いした方々は、笑顔がとても素敵で、その自然な笑顔には、仕事で得た充実感があふれているように思えました。

お話を聞いても、最初は不安で一杯でした。しかし、元々料理や掃除は嫌いではなかった。「大丈夫、一緒にやりましょう」という声かけに背中を押され、みらいの一員になりました。

分からない事や不安に思う事も先輩方からのアドバイスで解消！とても心強いです。利用者さんの笑顔に勇気もらい、私にも出来る事があつたと実感でき、今はみらいとの出会いに感謝しています。

まだまだ未熟ですが、利用者さんから信頼され、必要とされるヘルパーになれるよう自分を高めていきたいと思えます。

チャレンジ精神でまい進！

(女性40代 二〇一三年九月加入)
末っ子の小学校入学を機に何か仕事を始めたいと思い、「みらいより」に載っていた、資格がなくても出来る生活支援サービスというのが気になり、とにかく電話をしてみることにしました。すると、みらいではたまたま事務仕事をする人を探していてすぐ加入しました。

事務仕事以外の最初の仕事は、産後のママの家事支援でした。週に一度、掃除と夕食作りで訪問しましたが、赤ちゃんの成長も見ら

れるおまけつきの楽しい数か月となりました。

「ご利用者宅での仕事が終わると報告書を提出します。介護に携わっているメンバーの報告書からはご利用者の日常に寄り添ったコメントが書かれており、次第に介護の仕事にも興味を持つようになりました。その後、学校に通い資格取得を果たし介護保険やガイドヘルパーとしての仕事も増えています。

学校では「利用者の尊厳」という言葉を何度も聞かされました。何もかもお世話するのではなく、ご利用者の出来る部分はやって頂き、出来ない部分をお手伝いさせて頂くのです。とても奥深い仕事だと感じています。

みらいのメンバーになった事で新しい事にチャレンジする勇

気を与えられました。年を重ねてもチャレンジ精神を忘れず気持ちには若く頑張りたいと思えます。

研修報告

「身体介護技術研修」

K・N

上大岡ウィリング横浜で、身体介護の研修を受けました。今回は「ベッドから車椅子移乗」がテーマ。細かな技術の感想を報告するよりみらいのメンバーそしてみらいだよりを読んで下さる多くの介護者に本当にお伝えしたい事が一つだけあります。それは『「邪魔にならない介護」を目指そう』ということ。

介護を受ける方の残存能力を生かし個々の特性や生き方、考え方に合わせた介護。介護度にもよりますが、実際に居合わせたベテ

ランの方は、ベッドからの起き上がり↓入浴までの介助として危険箇所や動線のアドバイスのみで、手を貸したところは一〜二カ所だとの事でした。

リハビリにもつながる質の高い介護。難しくなかなか実践に至らないかもしれないけれど、とても良い勉強の場でした。

みらいでも内部研修を行っています。ですが、どんどん進化する介護技術を常に学んで行かなくてはと思います。



「調理実習に参加して」

K・S

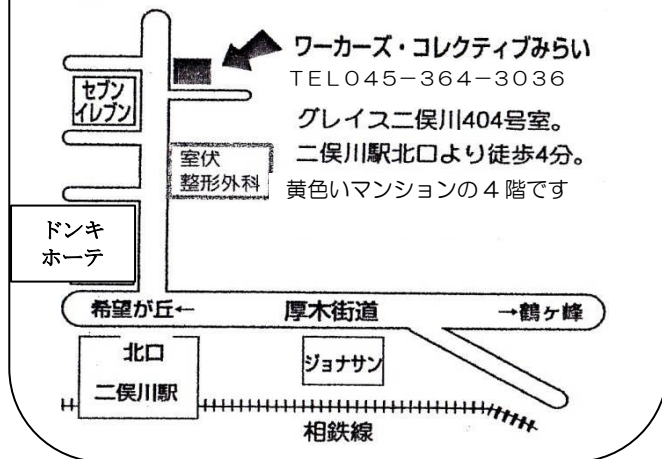
昨年三月と十一月の二回希望ヶ丘地区センターにて調理実習が行われました。大勢の女性陣の中で私を含め熟年男性二人が調理に挑戦しました。私はこの年(73歳)になるまできちんとした料理を作った事がありませんでしたので何から手を付けて良いか解らない状況でした。女性陣の指示の元おぼつかない手付きでかぼちゃを切っているうちに、他のメンバーが手際よく調理をし、みるみる料理が出来上がりました。料理は味だけでなく彩りや盛り付けも大事だと教わりました。料理を作るという事は、まず献立を考え、人数分の食材を揃え効率よく調理、味付け盛り合わせを考えるなど、大変頭を使う作業だ

と感じました。

最近物忘れの進んだ高齢者が、調理の際火の不始末を起こし、家族から調理を取り上げられ認知症になってしまったと聞いたことがあります。長年調理をやってきた人から、危ないからと料理を作る事を止めさせることは認知症が進む原因になるような気がします。上手にサポートしながらできる事を少しでも残していくのが大事だと思います。



～ 未来案内 ～



編集後記

本来なら昨年夏に発行予定のNo.16号ですが諸事情により発行が大変遅くなりました事、心よりお詫び申し上げます。今年4月から介護保険制度が変わり今後地域で互助・自助を中心とした助け合いの形が進められていきます。私たちワーカーズ・コレクティブが発足時から活動の基本にしている「お互い様のたすけあい」の心をもっと地域に広げて行きたいと思っています。 理事長 林 正枝

～メンバー募集～

- 介護保険事業・障害者総合支援事業
介護職員初任者研修修了者(旧2級ヘルパー)
- 生活支援サービス(コミ・オブ事業)
資格取得を目指している方大歓迎
みらいで一緒に活動して下さる方、
お待ちしております。
身近な地域が暮らしやすくなるように、
あなたの時間を有効に活用してみませんか。

○ 分配金(時給)・・・900円～1250円
交通費全額支給

○ 入会金 1,000円
○ 長期借入金(出資金) 19,000円

○ 仕事内容
家事全般、介護全般、送迎、食事づくり、掃除、洗濯、買い物、通院や外出介助、清拭、入浴介助・足浴、体位変換、排泄介助、子育て支援、など

一緒に働いてみたい方、
みらいにケアを依頼したい方、
まずはお電話ください。